

当社太陽光発電サービス等を活用した東京建物の物流施設における カーボンニュートラルの取り組みが環境省「気候変動アクション環境大臣表彰」を受賞

東京ガスエンジニアリングソリューションズ株式会社

東京ガスエンジニアリングソリューションズ株式会社(社長:小西 康弘、以下「TGES」)は、東京建物株式会社(社長:野村 均、以下「東京建物」)の物流施設「T-LOGI(ティーロジ)」の屋上において、オンサイト PPA サービス「ソーラーアドバンス」*1(以下、「本サービス」)を提供しています(以下「本取り組み」)。このたび、本サービス等を活用した東京建物のカーボンニュートラルの仕組みが、環境省主催の「令和5年度気候変動アクション環境大臣表彰」(先進導入・積極実践部門)を受賞しました。

本取り組みは、2020年12月に東京ガス株式会社(社長:笹山 晋一)と東京建物で締結した基本協定書*2に基づいたもので、TGESは東京建物が展開する首都圏の「T-LOGI」シリーズに太陽光発電施設を設置し再生可能エネルギー(以下「再エネ」)由来の電力を創出します。東京建物は構内の消費量を上回る再エネ電力を創出しており、その余剰電力を東京建物が所有する首都圏の商業施設等へ自己託送*3しています。

今回、東京建物が受賞した「気候変動アクション環境大臣表彰」は、気候変動対策推進の一環として顕著な功績のあった個人・団体をたたえるための表彰制度です。本取り組みによって、都心部のカーボンニュートラル促進に大きく貢献することができます。

東京建物プレスリリース:<https://tatemono.com/news/post-1.html>

なお、本取り組みの受賞は2023年6月の「日本不動産学会業績賞 国土交通大臣賞」*4に続く受賞になります。

東京ガスグループは、経営ビジョン「Compass2030」において、東京ガスグループの事業活動全体で、お客さま先を含めて排出するCO₂をネット・ゼロにすることに挑戦および「価値共創」のエコシステム構築を掲げています。

自らがユーザーとして蓄積してきた知見と多くのエンジニアリング事業で培ったユーザーズ・ノウハウを活用し、さまざまなパートナー企業との協業により再エネの普及拡大を推進し、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

*1:www.tokyogas-es.co.jp/business/energy/bio-gas/solaradvance.html

*2:[東京建物の物流施設「T-LOGI」再生可能エネルギーを活用した環境配慮の取り組みを実施\(2021年1月13日発表\)](#)

*3:自家発電設備を設置する者が、発電した電気を一般電気事業者の送配電ネットワークを介して、別の場所にある施設等に送電することで
[東京建物の物流施設で太陽光発電サービス「ソーラーアドバンス」を活用した自己託送を開始\(2022年2月4日発表\)](#)

*4:[当社太陽光発電サービス等を活用した東京建物の物流施設におけるカーボンニュートラルの仕組みが日本不動産学会「国土交通大臣賞」を受賞](#)

以上